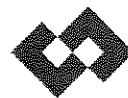


# 《東京電力P Gからの周知とお願い》

## ～柱上V C T新設時のリード線の扱いについて～



2018年10月に非常に強い勢力で上陸した台風24号の影響により、多くの停電事故の発生がありました。その中に、柱上V C TリードとP A Sリードの接続箇所での混線が原因の停電事故が3件あり、大変ご迷惑をお掛けいたしました。

今後、同規模程度以上の台風が上陸した際には、同様の停電事故を再発させないことを目的といたしまして、再発防止対策を策定いたしました。

### 【事故原因の分析】

台風時の強風により、柱上V C T電源側リード線とP A S負荷側リード線が大きく揺らされたことにより、他相との接続箇所が混線し接触が継続する。加えて、台風による急速汚損（塩害）により、カバー、リード被覆などの絶縁耐力の低下が発生し、線間短絡により断線に至ったと断定いたしました。

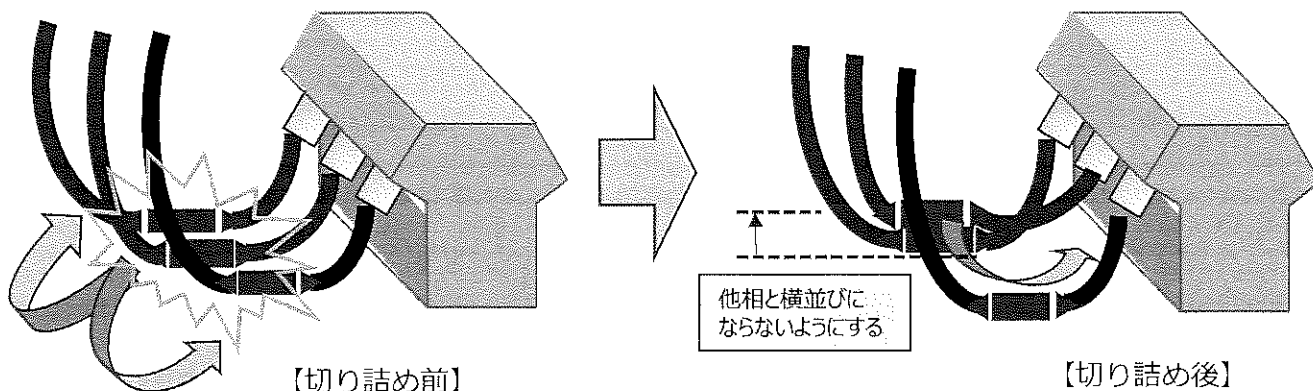


### 【再発防止の対策】

柱上V C T電源側リードとP A S負荷側リードが強風により大きく揺らされても、他相接続箇所との混線が発生しないよう、リード線の長さを調整させていただきます。模擬設備での検証結果より、P A S負荷側リードの中線を30cm切り詰めることで、他相との接続箇所の混線は発生しないことを確認いたしました。

※臨時供給は設置期間が短いこと及びP A S再使用を考慮し切り詰めは実施いたしません。

※切り詰めは弊社配電工事会社にて実施させていただきます。



**停電事故再発防止へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします**

《本件に関するお問い合わせ先》

東京電力パワーグリッド(株) 神奈川総支社広域業務G 担当者 村上 (電話) 045-394-1278